



図書館員が選ぶ この一冊

22

『トムは真夜中の庭で』 岩波書店 フィリパ・ピアス／著 高杉一郎／訳

弟のピーターがはしかにかかり、遠く離れたおばさんの家で休暇を過ごすことになったトム。ある真夜中、大時計が13回鐘を打ったことに驚き、ベッドを抜け出すと、あるはずのない庭園を見つける。そこで女の子ハティと出会い遊ぶようになるが、庭園の中は時の流れが違うことに気がつく。いったいここはどこなのか？そしていつなのか？



大時計に導かれ、過去と現在が交わる世界を体験するトムとハティ。時空を超えて出会う2人の間にはかけがえのない友情が築かれていく。著者はイギリスの児童文学作家、本作は代表作の一つとなっている。